



高中だより



令和4年 2月 9日

2月号

杉並区立高井戸中学校

杉並区高井戸東1-28-1

<http://www.suginami-school.ed.jp/takaidochu>

教育目標 ゆたかな人 ねばり強い人 たくまいい人 よく考える人

令和3年度 杉並教育評価 結果報告

肯定率 % 0 20 40 60 80 100

		生徒	保護者		
学級づくり	学校は生徒が安心・安全な学校生活を送ることができ学級づくりを行なっている。	生徒	79	生徒	79
		保護者	73	保護者	73
学習指導 適正な評価	先生は、授業で自分のことを褒めてくれたり、間違ったところを教えてくれる。生徒の学力や学習の達成度を適切に評価している。	生徒	74	生徒	74
		保護者	60	保護者	60
ICTの活用	学校は、ICT機器を活用した授業を行なっている。	生徒	93	生徒	93
		保護者	73	保護者	73
道徳教育	生徒は、授業や学校での生活を通して、他者と共によりよく生きる力が育まれている。	生徒	69	生徒	69
		保護者	73	保護者	73
体育・健康 教育	生徒は、授業や学校での生活を通して、体力や食、生活習慣をはじめ、健康な生活を送る力が育まれている。	生徒	70	生徒	70
		保護者	73	保護者	73
地域と共に 在る学校	授業や教育活動において地域の人材を計画的に活用している。家庭や地域と連携・協力して教育活動を行なっている。	生徒	45	生徒	45
		保護者	55	保護者	55
生活指導 いじめ防止	友達や勉強のことで悩んだときに、学校に相談できる人がいる。学校はいじめや不登校等に対して、未然防止・早期発見、解決に向けて、生徒や家庭と協力して取り組んでいる。	生徒	70	生徒	70
		保護者	43	保護者	43
安全教育	生徒は、授業や学校での生活を通して、地震や火災、事故など様々な危険を予測し、回避する力が育まれている。	生徒	71	生徒	71
		保護者	73	保護者	73
特色ある 教育活動	学校にはアンネのバラや朝学習など特色ある教育があり、生徒の成長により効果をもたらしている。	生徒	65	生徒	65
		保護者	72	保護者	72
進路指導	学校は生徒一人一人の興味関心や適性に応じて進路選択ができるように、情報を提供し、指導している。	生徒	58	生徒	58
		保護者	43	保護者	43
総合的な学習 キャリア学習	職業調べやキャリアガイダンスなどの進路学習は、生徒たちの将来の生き方を考える上で役立っている。	生徒	64	生徒	64
		保護者	56	保護者	56
学校行事	学校行事（体育大会、学芸発表会、修学旅行、スキー教室など）は学校生活が充実し、生徒の成長に役立っている。	生徒	71	生徒	71
		保護者	70	保護者	70
部活動	学校の部活動は、そのねらい（望ましい人間関係、個性の伸長など）が達成され、生徒の成長に役立っている。	生徒	72	生徒	72
		保護者	68	保護者	68
あいさつ	日常の学校生活を通して、あいさつが身についている。	生徒	85	生徒	85
		保護者	74	保護者	74

情報発信	学校だより、学年通信、学校ホームページなどで学校の様子がよく分かる。	生徒	63	生徒	63
		保護者	69	保護者	69
自己肯定感	学校生活全般を通して自分の行動が認められている。家庭において、子どもの自己肯定感を高めることを意識している。	生徒	64	生徒	64
		保護者	70	保護者	70
新型コロナウィルス感染予防対策	学校は、新型コロナウィルス感染拡大防止対策を講じた上で、教育活動が行なわれている。	生徒	78	生徒	78
		保護者	83	保護者	83

【特別支援教室】

0 20 40 60 80 100

学習指導	通級指導、特別支援教室の授業で得意な部分を伸ばしたり、苦手なところを少なくできるようにしている。手立てにより成長の可能性が広がっている。	生徒	84	生徒	84
		保護者	90	保護者	90
学習指導	できたことを褒めてくれたり、まちがいを教えてくれたりしている。学習目標の達成度合いについて適正な評価を受けている。	生徒	88	生徒	88
		保護者	100	保護者	100
学習指導	通級指導学級・特別支援教室では昨年度から個別担任制へと切り替えて、生徒、保護者、担任とが連携を深めている。	生徒	90	生徒	90
		保護者	93	保護者	93

●令和2年と比べ肯定率が5%以上下がった項目について

(学級づくり) (生活指導体制) (特色ある教育)

「よく分かる授業」と「安心して生活できる学校」これは学校の両輪です。いじめや不登校生徒に対する指導など、高井戸中でも課題はあります。いのちの大切さや、人権に関することなどの問題について高井戸中では、職員一同全力で取り組んでおります。学校として家庭や地域から「信頼」される学校づくりを来年度も目指します。そのために、あらゆる機会を使って保護者に周知してまいります。更に高井戸中の大きな課題であった、不登校生徒の増加に対して、来年度から高井戸中では「高井戸チャレンジルーム」を始めます。これは不登校生徒の学校での「居場所づくり」として現在の美術室を開放し、支援員を配置する予定です。不登校生徒が安心して学校に足を向けられるように、また、勉強や不安に思うことを少しでも解消できるように教育相談部を中心に組織的に取り組みます。

(地域と共に在る学校)

本校の土曜授業は、地域の人材を活用して様々な活動を行なってきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で地域の人材を招いて行う様々な行事は残念ながら縮小傾向にありました。来年度は本校の経営支援部を中心に地域の皆様方の協力をいただき、積極的に運営してまいります。また、生徒には、もっと「地域に支えられる学校」であることを伝えてまいります。

(学校行事)

生徒にとって年間の大きなイベントである体育大会や学芸発表会が、今年も新型コロナウイルス感染症の影響で内容を変更して行われました。2月現在では、来年度は十分に感染症対策を行ったうえで、例年と同じ規模になるように行事を実施していく予定です。生徒にとって学校生活が充実し、社会性や協調性、肯定感を高めるなど生徒が大きく成長するものになるよう取り組んでまいります。

(情報発信)

学校だよりや学年通信などを使い情報発信を推進してまいります。また、ペーパーレス化を進めるためにPTAと協力し「がくぶり」を本年度導入いたしました。来年度もこれらを活用し情報発信を行ってまいります。

※紙面の都合上、割愛した項目もございますが、今後もその推移を検証してまいります。

2年生 スキー移動教室

2月2日～4日、2年生は信州管平高原スキー場にてスキー移動教室がありました。3日間すべて快晴に恵まれ、最高のコンディションの中でスキー実習は行なわれました。

昨年度は新型コロナウイルス感染症のために中止となりましたが、今年は杉並区教育委員会の指導の下、全員がPCR検査を行い、保護者の皆様には多大なご心配をおかけいただきましたが、無事に実施することができました。生徒の皆さんも感染予防に十分務め、さらに楽しむところは十分に楽しむなど、けじめをつけた活動で、初めての宿泊行事を見事成功させることができました。

最初、初心者の皆さんは、立てない・止まらない・曲がれないと、悪戦苦闘していましたが、1日もたつとほとんどの人がリフトに乗り、斜面を滑ることができました。最終日には「俺って天才!?!」「もっと急なところを滑りたい」「帰りたい〜」となかなか生意気なことを言いはじめ!?!でも皆がスキーの面白さに触れることができたと思います。

スキーの醍醐味は、運動が得意かどうかにはあまり関係なく、必ず滑れるようになり、「できた喜び」をすぐに実感できることだとあらためて思いました。

新型コロナ感染症と上手に付き合いながら、普段味わうことができない、雪国でのスキーを通して学んだことや、宿舎で仲間と過ごして得られた「協力すること」や「集団生活のルールを守ること」など。そして、何よりも2年生の固く結ばれた「絆」は一生の思い出となることでしょう。この経験をぜひ修学旅行で生かしてください。

